

公益財団法人 四万十川財団
 TEL 0880-29-0200
 FAX 0880-29-0201
 Mail office@shimanto.or.jp
 URL http://www.shimanto.or.jp

■四万十リバーマスター × 普通救命救急法 I



【四万十リバーマスター】

四万十川のスペシャリスト。川の安全を見守ったり、観光案内をしたり、川での遊び方を教えてくれたりする。上流から下流まで総勢 78 名。漁師に漁協理事、元公務員にキャビンアテンダントなど経歴も特技も様々。四万十川を愛する気持ちから、ボランティアで活動を行ってくれている。

四万十川が日本最後の清流と謳われるようになってから、有り難いことに毎年、特に夏の時期にはたくさんの観光客やレジャー客で四万十川流域は賑わいを見せている。しかし、一方では、ただ眺めるだけの観光になってしまっていたり不幸な出来事が起こってしまったりと、四万十川の魅力を伝え、安全に遊んでもらう為の情報提供が十分でないことが課題としてあがってくる。そこで、『四万十川 196 kmを上流から下流まで繋いでいくように川の達人がいればいいのになあ』そんな思いから取り組み始めたのが四万十リバーマスター育成事業である。流域の川のスペシャリストの皆さんに四万十リバーマスターを委嘱し、その地域特有の危険防止情報や観光情報、川での遊び方などを伝えてもらっている。中には川漁師や船大工、アユ釣りの名人等もいるので、かなりマニアックな話を聞けることもある。また、河川環境や水質が懸念される中、昔の四万十川や今年の四万十川の状況について情報提供いただきたくことで当財団の活動にも役立たせてもらっている。

現在、そんな川のスペシャリストは総勢 78 名。四万十川に来られた際、彼らに出会えると旅の質がぐんと上が

ることは間違いない。しかし、あくまでボランティア活動として取り組んでもらっているため、決まった時間に決まった場所で活動しているわけではない。四万十リバーマスターに会ってみたいと思われた方は、下のロゴや帽子、腕章を目印にしてほしい。



↑リバーマスターのロゴ、帽子と腕章

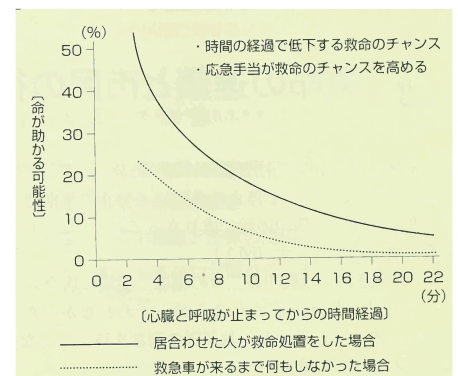
さて、先日、四万十リバーマスターの方々と普通救命救急法 I を受講し、傷病者を発見してから救急車が来るまでの応急手当について学んだ。

皆さんは、消防に通報してから救急車が到着するまでの時間をご存知だろうか？その時間、全国平均で約 8 分。また、心肺停止後、脳の回復

が困難とされるまでの時間は約 3 分。(図 1 参照)つまり、救急隊が来るまでに、居合わせた人が早急に一時救命処置を行うことが非常に重要となってくる。

また、最近をよく見かけるようになった AED。しかし、具体的にどこに設置されているかをきちんと確認されている方は少ないのではないだろうか。さらに、休日に小学校の校舎内にある AED を利用したい時はどうすればよいだろうか。管理人を呼ぶ？ガラスを割って侵入する？地震や津波と同じように、そういったシミュレーションをしておくことで、大切な我が子や友人の命を守ることができるかもしれない。もし不明な点や疑問点があれば最寄りの消防には是非確認しておいてほしい。

図 1



<p>■救命処置の手順</p> <p>まず、自分の安全を確保してください。</p>	<p>i) 反応の確認</p> <p>「大丈夫ですか？」</p> <p>軽く方をたたきながら声をかける。少しずつ声を大きくしながら3回繰り返す。</p>	<p>ii) 助けを呼ぶ</p> <p>「誰か助けてください！」</p> <p>「あなたは119番へ通報を」</p> <p>「あなたはAEDを持ってきて」</p> <p>協力者がきたら指名して指示。</p>
<p>■反応があった場合は、楽な姿勢をとらせるなどの対応を</p> <p>■ひとりの場合はまず119番通報</p>		
<p>iii) 呼吸の確認</p> <p>傷病者の胸や腹が上がり下がりしているかを約6秒見て確認し、普段通りの呼吸があるかどうか確かめる</p>	<p>iv) 胸骨圧迫と人工呼吸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胸骨圧迫 30回+人工呼吸 2回 ・胸骨圧迫は強く速く絶え間なく ・圧迫解除は胸がしっかり戻るまで ・人工呼吸がためらわれる場合は省略し、胸骨圧迫を続ける 	<p>v) AED 装着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れる ・パッドを装着する ・AEDの指示に従う
<p>■呼吸がある場合は、救急隊を待つ</p> <p>■判断に迷う場合は、呼吸なしと判断して構わない</p>	<p>■協力者がいる場合は2分を目途に交代してらうとよい。</p>	<p>■パッドを装着している間も可能であれば胸骨圧迫を続ける</p> <p>■電気ショックを実行する場合は傷病者の体に触れないこと</p>

New!!

四万十川財団会員協力店が増えました！



四万十市西土佐で川料理を提供する岩城食堂。時期になれば鮎やゴリ、テナガエビなどの四万十の幸を味わう事ができます。食堂からの四万十川の眺めも絶景。写真撮影もお勧めです。そして実は奥様は四万十リバーマスター！

会員証を提示すれば、会員証1枚につき2名様まで、コーヒー・紅茶・ジュースのいずれかをサービスいたします。



【岩城食堂】

〒787-1612
高知県四万十市西土佐津野川 647-5
TEL 0880-52-1172
定休日 第1・3日曜日

イベント情報

第6回 ウミガメと環境・写真と漂着物展



A4サイズの写真約100枚と、拡大コピー写真約20枚。出所の判るような標識やブイ、アカン、ウミガメの鱗板など約100点。

アカウミガメ × タイマイの可能性のある子ガメの写真などのほか、今までの産卵頭数、孵化率など様々な展示会。

日 時：平成27年12月17日～23日
夜九時まで閲覧可能
場 所：四万十市立中央公民館

四万十川財団会員募集！

四万十川財団の会員になって、ともに四万十川を守りませんか？会員になると高知県の一部の宿や飲食店でサービスを受けることができます。利用できる施設はこちらからご確認ください。
<http://www.shimanto.or.jp/link/partner.html>

- 会員のコースは下記の3通り
- ①1000円会員
 - ②2000円会員
 - ③5000円会員（流域産物プレゼント）

お申込お問い合わせは
四万十川財団まで！

